

Ⅱ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR 活動の実施

○機関紙 大商ニュースの発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」に関する事業等の特集し、その成果を共有するとともに、大阪・関西万博への企業の参画を促すため、関連事業を紹介した。事業利用会員や関係者の生の声で事業の魅力を伝え、会員の事業参画を促進するとともに、「がんばる大商の会員さん」「初めまして!新入会員です」「会員情報プラザ」「日本一明るい企業情報」を連載し、会員企業を紹介した。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの充実

本会議所が実施する事業の情報を、各部署からのメールマガジンだけではなく、企業や個人の関心事項「人事・労務・人材確保育成」「企画・マーケティング」「デジタル変革」等、登録者の関心事項に応じてタイムリーにEメールによる案内配信サービスを実施した。ホームページでは、本会議所が実施する多彩なセミナー・イベントや、地域経済活性化のための様々な活動、各種補助金や特別経営相談窓口開設情報を載する等、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。

[成果・実績]「大商メールステーション」の登録者数は4万1,328人、ホームページの年間総ページビュー2,368万2,772件になった。

(URL=<https://www.osaka.cci.or.jp/>)

○挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プランに関するシンポジウムの開催

中期計画「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」推進の一環として、シンポジウム「『まちごと万博』始動!～“まちなか”からつくる、新しい万博のカタチ」を5月に(株)日本経済新聞社と共催した。万博会場だけでなくまち全体で盛り上げる新しいカタチの万博への期待や、万博後に日本・大阪に何を残すか、まちの盛り上げに取り組む多様なプレイヤーが議論した。

[成果・実績]145人が参加した。

○大阪活カグランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人等を会頭名で表彰する「大阪活カグランプリ」を実施した。大阪活性化への貢献をたたえる「グランプリ」と、大阪で芽生えた未来志向の新たなチャレンジ等を表彰する「未来デザイン・チャレンジ賞」について、マスコミ各社からなる選考委員、本会議所役員・議員等から推

薦があった全51件の候補から選考委員会で候補を選出。正副会頭会議にて決定し、12月に表彰した。

[成果・実績]グランプリに「大阪の建設現場の皆様((一社)大阪建設業協会)」、未来デザイン・チャレンジ賞に「さくらインターネット(株)」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活カグランプリに「大阪の建設現場の皆様((一社)大阪建設業協会)」、未来デザイン・チャレンジ賞に「さくらインターネット(株)」を選出し、表彰した。

○鳥井会頭による企業訪問

鳥井信吾本会議所会頭は2024年度に中小会員等企業計9社を訪問。10月にエール学園を訪問し、外国人材教育について説明を受けたほか、グレーターミナミシティエリアの視察を行った。4月には終谷溶接所を訪問し、溶接の設備や工程について説明を受けた。一連の訪問を通じて、中小企業が直面する人手不足や価格転嫁の現状、また今後の企業成長に向けた具体的取り組み等について、経営者と幅広く意見交換した。



4月、鳥井信吾本会議所会頭が終谷溶接所を訪問した。

(2) 3万会員の維持に向けた会員満足度向上運動

○会員増強運動の推進

組織基盤の強化を図るため、新規加入件数2,000件を目標に会員増強運動を展開した。季節ごとに入会キャンペーンを実施し、新設企業等の非会員企業に本会議所を積極的に広報した。また、役員・議員・会員事業所から未加入企業をご紹介いただく等、会員増強に取り組んだ。

[成果・実績]紹介885件を含む新規加入件数合計は2,579件、年度末の会員数は3万1,941件になった。新

規加入件数の内訳は法人会員 1,466 件、団体会員 45 件、個人会員 588 件、特別会員 480 件。

○会員満足度向上活動の実施

会員との関係構築、会員継続及び退会防止を目的として、本会議所事業未利用会員及び新入会員への事業案内を行う、会員満足度向上活動を実施した。

[成果・実績] 事業案内件数は 1,404 件。また、事業利用件数は 202 件であった。

(3) 組織基盤の強化に向けた交流促進

○女性会の活動

本会議所会員企業の女性経営者の資質向上と会員相互



6 月、女性会の総会を開催した。

の交流を目的に、会員自らが講師となり自らの半生や経営者としての経験を発表する「経営事例発表会」、京都女性会との交流会等を実施した。また、広報誌を年 2 回発行し、本会活動の PR に努めた。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心に会員企業の経営者・経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した定例朝食懇談会を開催した。政治経済、国際関係、歴史、医療等、幅広い分野から講師を招聘して 9 回開催した。

[成果・実績] 延べ 714 人が参加した。